

第 30 回

西宮市子ども・子育て会議

【資料 1、資料 2】

目 次

資料 1	ロードマップ	・・・ 1
資料 2	議事 1 第 2 期子ども・子育て支援事業計画のパブリックコメント の結果及び計画策定にかかる最終審議について	・・・ 2

ロードマップ

	平成 30 年度		令和元年度					
	第 24 回	第 25 回	第 26 回	第 27 回	第 28 回	第 29 回	12.10~	第 30 回
	10.17	2.14	5.13	7.22	8.22	10.30	1.15	1.30
1) 第 2 期西宮市子ども・子育て支援事業計画								
アンケート調査の項目	●						パブリックコメント	
アンケート調査結果 速報		●						
提供区域の設定			●					
量の見込みの設定			○	○	○	●		
確保方策の設定				○	○	●		
計画全体の審議				○	○	素案 確定		●
2) 計画の評価								
第 1 期西宮市子ども・子育て支援事業計画		●						
西宮市子ども・子育て支援プラン								

○=審議、●=審議終了（確定）

※評価検討ワーキンググループ：令和 2 年 1 月 31 日、2 月 13 日に開催。

子ども・子育て会議への報告等は次年度に行う予定。

※確認部会：令和 2 年 3 月に開催予定。

議事 1 第 2 期子ども・子育て支援事業計画のパブリックコメントの結果及び計画策定にかかる最終審議について

1. パブリックコメントの結果概要

(1) 実施期間： 令和元年 12 月 10 日～令和 2 年 1 月 15 日

(2) 意見提出者： 26 人

(3) 意見者内訳：

提出方法	
郵送	0 人
FAX	21 人
メール	4 人
持参	1 人

職業別	
会社員	21 人
自営業	1 人
公務員	0 人
学生	0 人
その他	4 人

年代別	
10 歳代	0 人
20 歳代	10 人
30 歳代	2 人
40 歳代	2 人
50 歳代	6 人
60 歳代	3 人
70 歳代	0 人
未記入	3 人

居住地域	
本庁	23 人
鳴尾	1 人
甲東	0 人
瓦木	0 人
塩瀬	0 人
山口	0 人
市外	2 人
未記入	0 人

(4) 意見件数： 45 件

(5) 意見内訳：

項目	件数
計画全体に関すること	6 件
教育・保育に関すること	24 件
利用者支援事業に関すること	1 件
延長保育事業に関すること	1 件
留守家庭児童育成センターに関すること	4 件
健やか赤ちゃん訪問事業に関すること	2 件
子育てひろばに関すること	1 件
病児保育事業に関すること	2 件
その他	4 件

2. 意見内容

(1) 意見に対する事務局対応案

提出された意見に対し、事務局の対応案として、次の6つに分類しています。

分類	内 容	件数
①素案に記載済の内容です	いただいたご意見の内容は既に素案に盛り込まれています。	3件
②素案を修正します	いただいたご意見をもとに素案を修正します。	0件
③今後の参考・検討とします	素案の修正はしませんが、いただいたご意見は今後の参考（検討）にします。	31件
③' 今後の参考・検討とします	子ども・子育て支援プランに盛り込み済みのため、素案の修正はしませんが、いただいたご意見は今後の参考（検討）にします。	8件
④素案のとおりとします	ご意見の反映や対応が困難、または、市の考え方と方向性が合致しない内容です。	2件
⑤その他	素案の内容と直接関係のないご意見、感想等（①～④に該当しないもの）。	1件

(2) 意見一覧

No.	意見内容	対応案
計画全体に関すること		
1	保育所や育成センターの施設整備、地域の子育て支援施設の充実について、どんどん展開して行って欲しい。	①
2	ニーズがあるから拡大していくのではなく、「子供にとってどうなのか」という視点をもって欲しい。	③'
3	ただ足りないから増やすという短絡的な考えにならず、子供を中心に考えていただきたい。	③'
4	共働き家庭が多い中で行き先のない子供たちの事を考えて施設を増やして欲しい。	③
5	様々な事業が地域にあるので利用者がその事業を身近に知り利用できたらよい。	③
6	計画を丁寧に進め、少しでも子育てのしやすい市になって欲しい。	③
教育・保育に関すること		
7	整備の具体的な内容がしっかり決まらなると待機児童の問題は解決しない。	③

No.	意見内容	対応案
8	0～2歳の待機児童は、どのように保育所整備を行い解消していくのか具体的な説明が欲しい。職員も少ない中でどう受け入れをするのか具体的に提示して欲しい。	③
9	量への言及ばかりで、質への言及が一切ないのはどう考えてもおかしいのではないか。	③'
10	受け入れ人数を増やししながらも、いかにして質の担保もしくは向上を図っていくのか計画に盛り込むべき。	③'
11	今のやり方のように施設数だけを増やすのではなく、保育の質も考慮して欲しい。	③'
12	保育所の受入枠の拡大と共に受入先の充実も大切にして欲しい。	③'
13	規制緩和の中で劣悪な環境にならないよう安全、安心を守れる保育所をつくって欲しい。	③
14	待機児童解消のため小規模保育が増え、幼保一元化などの対策をとっているが、人を大切にしたい保育を行って欲しい。	③
15	より質の高い保育士確保ができるよう、施設間の取り合いにならないよう具体的な事業計画を盛り込んで欲しい。	③
16	保育士不足が解消されない中、見通しを持った計画を立てて欲しい。	③
17	保育士になりたいと思えるような制度や補助があったらよい。	③
18	保育士就職フェアをはじめ、たくさんの努力をされているが施設の数を増やさずに受入児童の数を増やし、かつ保育の質の担保もしくは向上が図れるようにするためにも、もう一度保育士不足解消の方法を吟味していただきたい。	③
19	保育士確保が出来なければ待機児童に対応できない。	③
20	余裕のある、手厚い保育をしていくためにも保育士の人数を増やして欲しい。	③
21	保育所の職員配置基準が低すぎるため、保育士への負担が大きい。職員配置基準を引き上げて欲しい。	③
22	保育士の配置基準を見直し保育士の人数を増やして欲しい。	③
23	保育士となってすぐに現場では「一人の先生」として働き始めるが、社会人になり右も左もわからないままスタートしてしまうので配置基準を見直して新人教育ができるようにして欲しい。	③
24	保育士が子供たちのことをもっと話し合い、お互いに伝えられるように子供たちにもしっかりと声をかける保育ができるよう、フリー保育士の配置など配置基準を拡充して欲しい。	③
25	利用ニーズを把握し進めていくことは良いことであるが、保育士の人材確保や配置等への取組みを明確にし、実現できるようにして欲しい。	③
26	子育て支援も大事だが、まずは働く人材を確保して欲しい。給料の底上げなど見直して欲しい。	③

No.	意見内容	対応案
27	現状では現場は仕事量が多すぎるので保育士の働き方（処遇を含めて）をもう少し何とかして欲しい。	③
28	保育所などの担い手となる保育士に焦点を当てて国が動くべきではないのか。子供にとって環境が大切な要因であるのと同様に働く環境も大切ではないか。	③
29	芦屋市、尼崎市、大阪市など近隣都市と同様に公立幼稚園の預かり保育を実施して欲しい。	③
30	公立幼稚園について、運営形態（2年保育や、入園時の抽選方法など）を時代のニーズに合わせていく必要がある。どうしても公立幼稚園の存続が難しい場合は、同じ場所に、市立のこども園の設立をお願いする。	③
利用者支援事業に関すること		
31	中学校区に一人は子育てコンシェルジュが必要。	③
延長保育事業に関すること		
32	時間外保育事業について、利用者のニーズや社会の変化に具体的にどう対応するのか。1、2人の子供に2人の保育士を20時まで確保しないとイケない現状は保育士不足の中、たいへん厳しい。	④
留守家庭児童育成センターに関すること		
33	育成センターの小学4年生の受入をもっと早く進めて欲しい。	③
34	小学5、6年生も長期休業日の時は利用できるようにして欲しい。	③
35	育成センターの施設の規模と受入人数が合っていない。センター数を増やして施設の規模に応じた子供の人数を受け入れるようにして欲しい。	①
36	育成センターの受入枠の拡大とともに受入先の充実も大切にして欲しい。	③
健やか赤ちゃん訪問事業に関すること		
37	生後2か月の赤ちゃんの家庭全てに訪問してくれるのは保護者の相談の場にもなりよい。私自身、子育て中に相談にのってもらい、うれしく、少し不安もなくなった。今後も訪問職員は大変だと思うが引き続き、がんばって欲しい。	③
38	健やか赤ちゃん訪問事業について、保健師の訪問を気軽に頼める仕組みづくりや近隣の保育士と連携するなど内容の充実を図って欲しい。できれば男性の訪問は避けて欲しい。	③
病児保育事業に関すること		
39	病児保育を充実させようという施策は保護者にとってありがたいものかもしれないが、子供のことを考えると負担はかなり大きく本当に増やすことが正解なのか。子供が病気の時などに仕事が休めないという根本的なところから変えていく必要がある。	④
40	子供が病気になっても働かないとイケない事情も多くあるため、病児保育施設をもっと増やして欲しい。	①

No.	意見内容	対応案
その他		
41	子供の健全な遊び場の一つである児童館の祝日開所をぜひ希望する。	③
42	未来の子供たち、そして頑張って来られた老人の介護、年金、そして保育士の処遇改善にお金を使って欲しい。	③
43	共働き、子育てしている人が働きやすい環境を作って欲しい。	③'
44	時間外保育事業や病児保育事業などはなるべく利用せずに子育てができるようになるとうい。	⑤
45	子供たちが安心して社会の中で育ち親が子育てを楽しめるような社会になって欲しい。	③'